

調査研究費(みらい下関)出張報告書

R 2年 2月 2日

氏名 戸澤 昭夫	視察項目 環境省シンポジウム 気候変動を踏まえた 脱炭素社会の実現に向けて
期間 R 2年 1月 18日 14:00から16:00 まで	視察先 熊本市中央区練浜町1番地 肥後銀行本店

視察概要・意見等

- ・主催者環境省 小泉進次郎環境大臣のビデオメッセージでの挨拶
- ・協賛 肥後銀行
- ・後援 別紙の通り

1 来賓挨拶で蒲島郁夫熊本県知事より
熊本県議会で2050年までにCO2排出をゼロにする議案可決を盛り込んだ挨拶があった。

2 環境省からの政策紹介
環境省 総合環境政策統括官 中井徳太郎氏より発表。

3 金融機関による連携取り組みの発表
肥後銀行・大分銀行・宮崎銀行・鹿児島銀行各頭取より概要説明。

4 事例紹介

① 熊本市長 大西一史
SDGs未来都市としての防災型地域エネルギー事業の取り組みについて

② 鹿児島県肝付町永野和行町長 鹿児島銀行 松野下秀峰
エネルギーの地産地消による地域課題の解決に向けた取り組みについて

③ 熊本県企画部倉光麻里子 肥後銀行地域振興部 竹下省吾
ゼロカーボンに向けた熊本県の動き
河蘇地域の創造的復興に向けた地域循環共生圏の構築に係る取り組みと地域金融機関の役割について

5 有識者による意見交換 ファシリテータ 環境省九州地方環境事務所長 岡本光之
九州財務局長 大津俊哉 由布市まちづくり観光局 桑野和泉

6 閉会挨拶

環境省 環境事務次官 鎌形浩史


まとめ

熊本県は2050のゼロカーボンの推進を既にすすめている。

環境省の中井氏は気候変動を1.5度以下に抑えたい、そのために地域資源を活かし青森県の地方と横浜が連携をしている。熊本市ではSDGsで地域防災力強化に向け、スマート社会を設立し災害時にエネルギーを供給するため、連携中枢都市圏で2050までにCO2排出ゼロにするために共同で策定する。全国初等政府としてはSDGsの取り組みを現在の13%から60%に上げる方針である。とまだまだいろいろあるが

下関市ではSDGsの取り組みはゼロに等しいと思うので、政府の方針に向けて、再生可能エネルギー政策や地域循環型共生圏の構築と幅広い地域連携と地域資源を活かし地方創生に合わせてSDGsの取り組みが必要と思う。その為には、地域金融機関と連携し地域人材を発掘し、または外部からの人材の受け入れ等を試行し、下関市として、山口県のリーダーとして、積極的に取り組まなければならないと思う。

今後早期取り組みを強く要望する。



環境省シンポジウム
気候変動を踏まえた
脱炭素社会の実現に向けて

日時 2020年1月18日(土)
14:00~16:00

会場 肥後銀行本店ビル2階大会議室
(熊本県熊本市中央区練兵町1番地)

資料掲載先 <https://www.env.go.jp/press/107595.html>

